

受理年月日	平成26年6月27日	付託年月日	平成26年6月30日	所管委員会	第2委員会
番号	26年請願第13号				
件名	特別支援学校通学指導員民間委託の見直しについて				
請願者	博多区春町二丁目1-8-207 越智 康子 外12人				
紹介議員	中山、熊谷、綿貫、星野、宮本、太田、荒木				
分割付託	なし				
要旨	<p>去る6月17日、発達教育センターにて、特別支援学校、児童生徒の通学バス指導員の民営化に伴い、子どもの所属が今後、民間介護サービス会社であることを初めて知らされ、勤務条件等の説明を受けました。ここで、スクールバス介助が民営化になるとどういふ事態が起きるか考えてみます。児童生徒の障がい・特性や発作症状は一人一人異なります。また、自閉傾向の強い生徒が多く、その把握のため保護者や教職員との連携が極めて重要です。私たちの質問に対して、今後民営化して正規職員が休む場合、その都度同会社から（児童生徒の特性を把握されない）ヘルパーさんが来るとの回答でした。そうすると子どもは不安でバス車内で他傷行動を起こすなどの危険が予想されます。バス指導員は児童生徒の命を預かり、細やかな配慮が求められる大切な仕事です。ですから、民間に丸投げすることは問題です。わずか600万円の予算削減のために、子どもの命と安全を脅かすことは許されないことです。保護者も反対しています。今後安心して我が子を預けることができるのだろうか、大変心配しています。</p> <p>次に、通学指導員に提示された所属会社と勤務条件は、北九州の前例と似ています。北九州では当初日給6,500円でした。しかし、現在時給922円まで下がり、学期半ばで全路線の求人票が出ている状態です。確かに、今後も続けていきたいですが、生活を考えると厳しい選択を迫られています。実際何人も退職者が出ています。今後待遇は北九州と同様、次第に悪くなることが予想されます。</p> <p>最後に、現行の雇用体制の当面の維持を求めます。理由は第一に、車内の児童生徒の安全を考えると、安易に民間委託すべきでなく、慎重な検討が必要だと考えるからです。第二に、新体制がスタートするのは9月1日であるのに、説明会開催が余りにも遅かったこと。第三に、説明会では勤務条件等の説明が短時間で、質問時間がほとんど与えられず、回答も曖昧だったり、先送りされたものが多かったこと。第四に、6月17日の説明会実施後、わずか2週間も検討する時間が与えられない中で、9月1日以降も業務を継続するか意向を問うアンケート締め切り（6月30日）が迫られるなど、あまりに一方的過ぎることが理由として挙げられます。</p> <p>よって、以下の事項を請願します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援学校スクールバス通学指導員民間委託の9月実施を見直すこと。 2. 前項にかかわって、通学指導員の今の雇用任用形態をしばらく維持すること。 				
審査	平成 年 月 日	結 果		委員会	平成 年 月 日
年月日	平成 年 月 日			本会議	平成 年 月 日
	平成 年 月 日			平成 年 月 日	

平成 26 年 6 月 27 日

福岡市議会議長 森 英鷹様

請願者

〒812-0872

福岡市博多区春^町 2-1-8-207

越智 康子

外 12 人

特別支援学校スクールバス民間委託の
9月実施の見直しを求める請願
～子どもの命と安全を守りつづけるために～



【請願の趣旨】

去る6月17日発達教育センターにて、特別支援学校、児童生徒の通学バス指導員の民営化に伴い、私共の所属が今後麻生介護サービス株式会社（以下、麻生）であることを初めて知らされ、勤務条件等の説明を受けました。

ここで、スクールバス介助が民営化になるとどういう事態が起きるか考えてみます。児童生徒のしょうがい・特性や発作症状は一人ひとり異なります。また、自閉傾向の強い生徒が多く、その把握のため保護者や教職員との連携が極めて重要です。私たちの質問に対して、今後民営化して正規職員が休む場合、その都度麻生から（児童生徒の特性を把握されない）ヘルパーさんが来るとの回答でした。そうすると子どもは不安でバス車内で他傷行動を起こすなどの危険が予想されます。バス指導員は児童生徒の命を預かり、細やかな配慮が求められる大切な仕事です。ですから、民間に丸投げすることは問題です。わずか600万の予算削減のために、子どもの命と安全を脅かすことは許されないことです。保護者も反対しています。今後安心してわが子を預けることができるのだろうか、大変心配しています。

次に、通学指導員に提示された所属会社と勤務条件は、北九州の前例と似ています。北九州では当初日給6500円でした。しかし、現在時給922円まで下がり、学期半ばで全路線の求人票が出ている状態です。確かに、今後も続けていきたいですが、生活を考えると厳しい選択を迫られております。実際何人も退職者が出ております。今後待遇は北九州と同様、次第に悪くなるのが予想されます。

最後に、現行の雇用体制の当面の維持を求めます。理由は第一に、車内の児童生徒の安全を考えると、安易に民間委託すべきでなく、慎重な検討が必要だと考えるからです。第二に、新体制がスタートするのは9月1日であるのに、説明会開催があまりにも遅かったこと。第三に、説明会では勤務条件等の説明が短時間で、質問時間がほとんど与えられず、回答も曖昧だったり、先送りされたものが多かったこと。第四に、6月17日の説明会実施後、わずか2週間も検討する時間が与えられない中で、9月1日以降も業務を継続するか意向を問うアンケート締め切り（6月30日）が迫られるなど、あまりに一方的すぎるのが理由として挙げられます。

【請願事項】

- 一、特別支援学校スクールバスの民間委託化9月実施を見直してください。
- 二、前項に関わって、通学指導員の今の雇用任用形態をしばらく維持してください。

おなまえ	ごじゅうしょ